

数学科 第2学年 幾何 年間指導・評価計画

東京都立大泉高等学校附属中学校

月	単 元 名 (教材名) (配当時数)	学 習 活 動 ・ 内 容	評価の主な観点			評 価 の 観 点 規 準	評価のための 判断材料
			主体的に学習に 取り組む態度	思考・判断・表現	知識・技能		
4月 5月	第1章 図形と相似 (12時間) (1) 相似な図形 (2) 三角形の相似条件 (3) 平行線と線分の比 (4) 中点連結定理 (5) 相似な図形の面積比、体積比	<ul style="list-style-type: none"> 相似な図形の性質を理解する 三角形の相似条件を理解する 平行線と線分の比の関係などを調べたり,相似な図形の性質を測量などに生かす 三角形の中点連結定理を,図形の論証に生かす 縮図を利用して,距離や高さを求める 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 図形の拡大・縮小の意味や相似な図形の性質に関心を持ち,積極的に図形の考察に活用しようとした 三角形の相似条件を使って,図形の性質を調べることができる 相似比を求めることができる 三角形の相似条件がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの提出 授業の反応 単元テスト 1学期中間考査
6月 7月	第2章 線分の比と計量 (14時間) (1) 三角形の重心 (2) 線分の比と面積比 (3) チェバの定理 (4) メネラウスの定理	<ul style="list-style-type: none"> 三角形の重心、チェバ、メネラウスの定理およびその定理の逆について理解し、証明問題に活用する。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> チェバ、メネラウスの定理を証明できる。 チェバ、メネラウスの定理を利用し証明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の反応 ノートの提出 1学期期末考査 単元テスト
9月 10月 11月 12月	第3章 円 (28時間) (1) 外心と垂心 (2) 円周角 (3) 円に内接する四角形 (4) 円の接線 (5) 接線と弦のつくる角 (6) 方べきの定理 (7) 2つの円	<ul style="list-style-type: none"> 外心と垂心について理解する 円周角の意味とその定理 円周角の定理を活用して角の大きさを求める 円に内接する四角形について理解し、それを活用して角の大きさを求める。 円の接線について理解し、内接円・内心、傍心を論証に生かす。 2つの円の位置関係を理解する。 共通接線の性質を理解する。 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 円周角の性質について関心をもつ 円周角の定理を用いて角の大きさを求めることができる 円周角の定理がわかる 外心、垂心などを理解し、その位置を求めることができる 円に内接する四角形の性質を理解し、角度を求めることができる 2つの円の位置関係などから、既習の定理などを用いて問題を解決しようとする。 相似な図形や特徴ある性質を発見し、課題解決に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期中間考査 ノートの提出 授業の反応 単元テスト 2学期期末考査
1月 2月 3月	第4章 三平方の定理 (16時間) (1) 三平方の定理 (2) 三平方の定理と平面図形 (3) 三平方の定理と空間図形	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理について理解する 三平方の定理を活用して線分の長さを求める 三平方の定理を用いて、対角線の長さや三角形の面積、座標平面上の2点間の距離を求める 三平方の定理を活用して直方体の対角線や最短距離を求める 	○	◎	○	<ul style="list-style-type: none"> 三平方の定理について理解することができる。 三平方の定理を用いて線分の長さを求めることができる 三平方の定理を用いて平面図形の問題を解くことができる 三平方の定理を用いて空間図形の問題を解くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ノートの提出 授業の反応 3学期学年末考査 単元テスト